

信

1101
6216

屋根表面温度 15~20℃低く



ミラクルの施工風景。屋根に塗るだけで高い遮熱効果を発揮する

遮熱塗料「ミラクル」本格展開

安塗装 (松本市)



「ミラクルを民間受注拡大の切り札にしたい」と力を込める安塗装社長

同社では、メーカーの射率92・2%が最大の(株)ミラクル(東京都中央区)と県内における販売特約店・指定施工店の契約を結び、事業展開する。ミラクルは日射に対して高い反射率(日射反2℃低く保つ)ことができ、

作業環境の大幅な向上や冷房費の削減を可能にする。

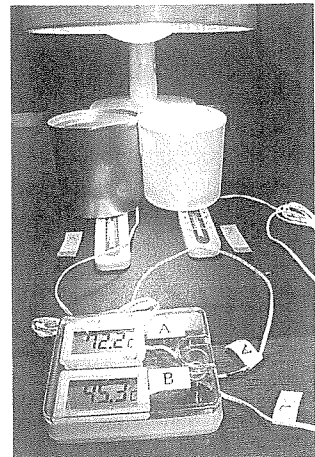
また、シリコン樹脂の配合率が高いため、塗膜の粉体化による劣化(チヨキング)が起りにくく、メンテナンスフリーで10年と耐久性にも優れる。

施工は、従来の他社製品が、下地を含め3~4回の塗り重ねが必要なのに対し、遮熱効果を持つ下地剤を塗った後、仕上げを施す2回で済むこと(劣化状況)を1年間に

橋梁塗装を中心に手掛ける安塗装(本社・松本市、安塗装産社長)は、今年に入り新たに、工場や店舗、一般住宅などの屋根や外壁に塗装することで遮熱効果を発揮し、作業環境の向上、節電などを実現する遮熱塗料「ミラクル」の販売・施工を始めた。夏場を迎え、原発事故の影響による節電ムードが全国的に高まる中で、冷房コストを抑えて省エネを図りたい人や地元製造業などから同製品に対する問い合わせが増えている。

冷房費抑え節電に最適

スタンド電気ミラクルの効果を左の表面温度は右の表面温度に比べて20℃近く低いことを確認。ミラクルを塗った缶の表面温度は左の缶に比べて20℃近く低いことを確認。



「民間受注拡大の起爆剤」に位置付ける。今後、節電やエコを追い風に、さらに営業面などを強化していく考えだ。

安曇野市

三郷地域の育園改築を検討 検討委が2回目の会合

施設のあり方や定員規模、建設候補地などについて話し合い、その結果を8月中旬をめどに宮沢宗弘市長に報告する。6月24日に開いた1回目の会合で15人の委員に市から委嘱状が交付された。14日の会合では、3園の

望む意見などが出た。建設地については、3園とも現園舎の周辺近くで建て替えを求めている意見が多く出された。市が提出した資料によると、0~5歳児の人口推計から算出した平成32年の入園者数は、東部が

189人(現155人)、昭和52年建築、S造平屋、延べ1280㎡、定員170人)、北部が136人(現138人、昭和53年建築、S造平屋、延べ1054㎡、定員150人)、西部が28人(現59人、昭和53年建築、S造平屋、延べ1054㎡、定員150人)の事故防止を徹底するための「松筑地区建設工事

の防災防ぐの安全管理の徹底確認
公共工事の建設現場での事故防止を徹底するための「松筑地区建設工事の安全管理の徹底確認」を主催する。頭で、あいさつに立った労基署の松田拓道署長は「発注元は、受注者の安全に對し大きな影響力を持つている。十分な配慮をお願いしたい」と要請した。また同署長は、クレーンの転倒による事故が増加傾向にあるのに危



注機関の担当者が出席し、安全対策の気持を引き締めた

「防災講習会」を企画 建協木曾の青年部会

総会で事業計画決定
(株)建設業協会木曾支部の青年部会(青木幸尚部会長)は7月7日、23年度の通常総会を木曾建設会館(木曾郡木曾町)で開き、事業計画や予算

生徒らにも「おいしい水だ」と評判は上々だ



防災に役立ててほしい。飯田市の(株)シノダ(池田幸弘社長)は飯協会(藤森秀則会長)と協力をし、立た。はじめに諏訪市建設業協会の協力を得て、

換を行った。山田会長は「坂室バイパスが供用し、いよいよ項目の市町村要望箇所を

事では諏訪バイパスなど早期事業化に加え、14(中河原地区)【国道20号の早期改修個野市) 現道拡幅区間の事業促進

歩道整備(茅野市) 建設倉庫の架け替え(茅野市)

補修(富士見町) 上真木集落内路面補修(富士見町)

災の復旧も皆さんといっしょにやっつけていきたい」と支援を求めた。



県側から